

8 生涯学習

少子高齢化、情報化にともない、市民のニーズは増大し、高度化・多様化している。

市民生活の充実と向上のために、学習機会や情報提供、学習相談の充実をすすめ、市民の自発的な学習活動を支援する。また、文化・芸術活動の振興や文化財保護活動のための各種事業を行う。

(1) 生涯学習・文化芸術事業・その他

【生涯学習関連事業の推進】

「上尾市生涯学習基本構想・基本計画」を策定し、「生きる喜びを分かち合える生涯学習」を基本理念として事業を推進している。

基本目標として、「だれもが学べる生涯学習」「学んだ成果を生かせる生涯学習」「地域参加をすすめる生涯学習」「人と地域をつなぐ生涯学習」を掲げ、生涯学習に関する情報提供や指導者養成、拠点整備、事業の充実などに努め、生涯学習社会を実現するため、市民との協働により事業展開している。

ア. あげおふるさと学園の運営

市民一人ひとりの生涯学習活動を支援するため、平成12年10月1日あげおふるさと学園を開園した。当初は単位履修の個人学習方式で始まったが（平成18年度末で廃止）、現在は、公民館等で講座を開設する市民大学方式が定着し、今日的課題に対応した地域・郷土学習などを行っている。学習の成果を地域に還元していただくことなどを目的としている。

イ. 生涯学習情報提供の充実

・生涯学習相談コーナーの運営

自分に合った学習を見つけ、進めていくための情報提供や学習グループ相互の交流

を図る場として市役所第三別館1階に設置。

土日祝休日と年末年始を除く平日の午前9時～午後5時に開所。平成18年度の年間利用者数は1,716人。

・『生涯学習情報紙エル』の発行

生涯学習情報紙として、また、あげおふるさと学園の情報紙として、まちの話題や市や教育委員会などが実施する講座、イベント情報を掲載してきたが、平成19年度で廃刊予定。

・上尾市まなびすと指導者バンクの運営

生涯学習活動の分野ごとに指導者（市民講師）を登録し学習者に指導者情報を提供する。平成8年12月1日から情報提供開始。平成19年4月1日現在の登録者数は125人。

ウ. 学社連携の推進

平成7年2月に生涯学習推進学社連携会議より「生涯学習社会における地域に開かれた学校づくりに向けて」の提言書が提出された。これに基づき、学校施設を地域に開放し、または、学校教育機能を地域に還元することや、社会教育を学校教育に活用していくことを推進していく。

・特別教室開放事業

平方東小学校の音楽室、図工室、家庭科室、理科室、講座室、多目的室を市民（利用登録団体）に開放している。さらに、平成19年10月から芝川小学校の多目的室、和室、図工室の開放事業を開始した。

・大学公開講座

市民の専門的学習要求にこたえるため、大学の機能を市民に開放する。
 <平成19年聖学院大学公開講座>
 期間 5月12日～7月14日の土曜日

第1講座 「希望と格差、不安な社会を生き抜く視点」40人

第2講座 「役に立つ英会話講座」
初級各30人、中級各30人

第3講座 「パソコンの初歩」80人

第4講座 「女声コーラス」80人

エ. 上尾市生涯学習推進員

地域における生涯学習活動を支援するボランティアとして上尾市生涯学習推進本部長が委嘱。現在26人。市民の学習活動の指導・助言や情報提供のほか、生涯学習相談コーナーでの情報提供業務・公民館事業などに協力している。

オ. あげお市政出前講座

市民の学習希望に応じ、市職員が出向いて、担当専門知識・技術などを教えるもの。従来いくつかの部署で行われていたものを新規分野も入れ体系化し、平成19年8月から実施(35講座)。

カ. 家庭教育の推進

主として小・中学生の親を対象に家庭教育をテーマに講演会を平成20年2月9日(土)に開催する。

また、家庭教育学級を幼稚園保護者会4団体に、家庭教育推進事業を市PTA連合会に委託している。

キ. 上尾市成人式

新しく大人の仲間入りをした新成人を祝し、励ますため平成20年1月13日(日)に式典を開催する。対象者2,229人(H19.4.1現在)

【文化・芸術事業】

ア. 第39回上尾市美術展覧会

広く市民の美術活動の普及を図り、豊かな人間性を養い、市民文化の向上に寄与することを目的とする。

会期 平成19年10月23日～10月28日

会場 上尾市コミュニティセンター、上尾市民ギャラリー、ショーサンプラザ・センターコート

種目 第1部＝日本画(45点)
第2部＝洋画(192点)
第3部＝立体造形(23点)
第4部＝工芸(41点)
第5部＝書(196点)
第6部＝写真(81点)

イ. 第34回上尾市民音楽祭

市内のコーラス、吹奏楽・器楽、邦楽などの音楽団体が、それぞれの活動の成果を発表し合い交流を深め、音楽を通じて市民文化の向上を図るとともに全市的に音楽の輪を広げることが目的とする。企画・運営は、参加団体による実行委員会で行なっている。

●合唱祭＝平成19年11月11日(日)22団体

●邦楽祭＝平成20年2月23日(土)20団体

●吹奏楽・器楽祭＝平成20年2月24日(日)11団体

ウ. 文化芸術振興基金の積み立て

市民の文化芸術の振興と普及を図る活動を支援するため基金を積に立てする。

平成19年4月現在の積立基金35,580,715円

エ. 上尾市民ギャラリーの運営

市民の美術作品などを展示、鑑賞する場を提供し芸術文化の振興、向上に寄与することを目的に、JR上尾市駅東口アリオペール上尾サロン館2階に「上尾市民ギャラリー」を運営している。(全面228㎡・半面132㎡)

【その他】

ア. 社会教育関係団体支援・補助

イ. 市PTA連合会事務局

(2) 人権教育の推進

憲法や教育基本法では、基本的人権、自由、

平等、教育の機会の均等について保障している。しかし、同和問題、女性、障害者、子ども、高齢者、外国人などに関するさまざまな人権問題が存在している。

これらの問題を解消するため、集会所では憲法や「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の趣意にのっとり、地域社会における同和問題・人権問題の解決に向けて人権尊重の精神に徹し、差別を正しく認識し、差別の解消のために意欲と実践力をもった人間を育てることを目指して事業展開している。その事業展開については以下の目的をもって実施する。

- ・地域社会における健康で明るい人間関係を図ること
- ・地域の人々の教養を高め、生活の合理化を図ること
- ・人権問題の認識と理解を深めること

このような目的を果たすために、各種教室・講座、人権研修会、団体育成など幅広い活動を行う。

ア. 人権教育の推進

- ・市民に対する人権教育の推進
- ・市附属機関、各種団体指導者に対する研修
- ・あらゆる学級、講座の中に人権問題を位置づける

イ. 集会所事業の充実

18年度集会所事業（実績）

	原市集会所	畔吉集会所
○ 講座数	10 講座	12 講座
○ 実施時間	130 時間	134 時間
○ 参加人数	272 人	227 人
○ 一般利用回数	1,080 回	1,434 回

（18年度原市集会所講座内容）

子どもわくわく体験教室、料理教室、気功太極拳教室、生花教室、高齢者健康教室、

親子体操教室、押し花教室、唱歌教室、健康吹き矢教室、絵手紙教室。

（18年度畔吉集会所講座内容）

料理教室、子どもわくわく体験教室、太極拳教室、大正琴教室、親子体操教室、ヨーガとつば教室、トールペイント教室、歌を楽しむ教室、生き生き健康教室、ハーモニカ教室、水引教室、将棋教室。

（3）文化財の保護

文化財保護事業は、上尾市文化財保護審議会の開催、文化財の保存・管理、埋蔵文化財の保護、伝統文化の継承・発展、文化財資源の活用と保護思想の普及、歴史資料の収集整理、文化財保護施設の整備、文化財保護行政の基礎運営の8本柱で計画し、実施している。

ア. 上尾市文化財保護審議会

市内に所在する文化財の調査や市教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存と活用に関する重要事項を審議し、かつ建議する。

・会議：5月29日、2月予定

イ. 文化財の保存・管理

- (ア) 市指定文化財の登録
- (イ) 市登録文化財の登録
- (ウ) 市指定文化財の修理・修復
- (エ) 市指定文化財維持交付金の交付
7件へ210,000円を交付
- (オ) 市指定文化財の状況調査
市指定文化財の現状を把握することで、円滑に保存し、維持・管理を進めていく。
- (カ) 馬蹄寺のモクコク防虫駆除（5月23日、9月3日）
- (キ) 文化財の調査・研究
・石造物調査
- (ク) 民具の収集と整理（民具収蔵庫の薫蒸）
- (ケ) 文化財説明版・標柱の設置

ウ. 埋蔵文化財の保護

- (ア) 埋蔵文化財試掘・確認調査
- (イ) 埋蔵文化財緊急発掘調査（国・県補助事業）上宮下遺跡（第4次）・本山遺跡（第1次）及び、箕輪IV報告書刊行
- (ウ) 市事業による出土遺物の整理調査
・領家・宮下遺跡、後耕地遺跡
- (エ) 上尾市遺跡調査会の運営

エ. 伝統文化財の継承・発展

- (ア) 技の公開と実演（祭礼調査など）
- (イ) 無形民俗文化財の記録保存事業

オ. 文化財資源の活用と保護思想の普及

- (ア) 文化財めぐり

回	時期	内容	講師	参加者
第1回	6/1 (金)	路傍の石造物見て歩き（上尾西口周辺の文化財）（徒歩）	星野 宗敏氏 （日乗院住職）ほか	27人
第2回	11/2 (金)	富士見市とふじみ野市の文化財（大型バス）	早坂 廣人氏 （富士見市教育委員会職員）ほか	30人

- (イ) 郷土史講座

[会場/上尾公民館講座室]

[第1回 テーマ/鉄道とあげお(2回講座)]

期日	内容	講師	参加者
9/13 (木)	「上尾の鉄道事始 ー日本鉄道の成立 と展開ー」	佐藤 美知男氏 (交通博物館 専任学芸員)	14人
9/20 (木)	「高崎線の時代 ー国鉄とJRの1 世紀ー」	佐藤 美知男氏 (交通博物館専 任学芸員)	14人

[第2回 テーマ/中山道の旅～上尾宿・原市～]

期日 1月24・31、2月7日

講師 杉山 正司氏（埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸主幹）

- (ウ) 市指定文化財説明板・標柱の設置
- (エ) 文化財保護に関する啓発誌の発行
本年度に行った保護活動や調査結果を『上尾の文化財保護（年報）—平成19年度—』として発行（3月）
- (オ) 地域公民館の展示ケースの展示替え

カ. 文化財資源の活用

- (ア) 出張講座（学校や文化活動団体等）
- (イ) 総合的学習、教員研修等

キ. 文化財保護施設の移転

- (ア) 平成19年7月2日付で文化財整理室を緑丘別館から上尾市立平方小学校北校舎1階（3教室分）へ移転

ク. 文化財保護行政の基礎運営

- (ア) 県文化財保護協会〔県内71市町村で構成〕
・評議員会・研修会
・『文化財保護協会創立50周年記念事業』の準備委員を担当
- (イ) 担当者会議、職員研修、器材の維持・管理

(4) 歴史資料調査事業の推進

昭和62年度から開始された市史編さん事業は、平成13年度もって『上尾市史』全10巻の刊行を全て完了した。

本年度は、この市史編さん事業を進める中で、収集された約42,100点の旧役場文書について、今後、市民の学習・研究活動に広く活用できるように、整理・分類し、公開を目的とした目録化の事業を進める。

平成19年度の主な事業

- (ア) 歴史資料の整理・保存
 - ①歴史的資料の収集
・公文書の収集（6月、8月、2月）
 - ②文書目録の発行（3月）

・旧役場文書（上尾町・平方町・大谷村）
300部

③諸家文書の調査・整理・分類(通年)

(イ) 資料の二次的保存収集資料の記録（4～8月）

①マイクロ写真撮影

(ウ) 保管のための資料室の維持管理（通年）

(エ) 資料の活用（通年）

①市民の学習・研究活動のためのマイクロ写真撮影資料の引き伸ばし複写提供

(オ) 研修・会議（通年）

①埼玉県地域史料保存連絡協議会

〔県内65市町村及び県立文書館で構成〕

・専門研究委員会（第6次）委員を担当

(カ) 市史編さん事業のPR

a 既刊の『上尾市史』（第一・二・三・四・五・六・七・八・九・十巻）、調査報告書、調査概報の頒布

※上尾市史編さん事業刊行物

『上尾市史』全10巻（既刊）

第一巻 資料編1 原始・古代

第二巻 資料編2 古代・中世・近世1

第三巻 資料編3 近世2

第四巻 資料編4 近代・現代1

第五巻 資料編5 近代・現代2

第六巻 通史編（上）

第七巻 通史編（下）

第八巻 別編1 地誌

第九巻 別編2 金石・文化財

第十巻 別編3 民俗

※既刊の『上尾市史編さん調査報告書』・

『上尾市史調査概報』の内容（調査報告書）

第1集 平方貝塚

第2集 領家八幡宮古墳 平塚谷津下1・2号墳

第3集 原始・古代文献目録 考古学的調査の歩み

第4集 新聞記事目録（明治・大正）

第5集 中堀川流域の地形・地質

第6集 安政四年久保村須田家日記

第7集 十四番耕地遺跡—第2次調査—

第8集 統計

第9集 新聞記事目録（昭和／戦前）

第10集 尾山台遺跡

第11集 菅谷北城跡

第12集 上尾の中世石塔

第13集 南村 須田康子家文書目録1 近世編

第14集 南村 須田康子家文書目録2 近代・典籍編

（調査概報）

創刊号 座談会「市史編さんよもやま話」ほか

第2号 特集「尾山台遺跡」ほか

第3号 研究ノート「近世後期関東への甘藷栽培の普及と上尾地方」ほか

第4号 研究ノート「上尾地域における明治地方自治の成立と地方名望家」ほか

第5号 研究ノート「地形からみた上尾の村と町」ほか

第6号 研究ノート「牧野家と足立郡石戸領」ほか

第7号 研究ノート「縄文時代前期末葉の様相」ほか

第8号 研究ノート「近世中期南村須田家の農業経営」ほか

第9号 研究ノート「上尾市周辺荒川左岸の三匹獅子舞」ほか

第10号 特集「続・満蒙開拓青少年義勇軍」座談会ほか

第11号 研究ノート「金石文にみる上尾の古道」ほか

第12号 研究ノート「上尾市周辺地域の三

「匹獅子舞」ほか
第13号 研究ノート「中山道上尾宿におけ
る助郷負担の実態」ほか

第14号 研究ノート「宝暦期南村須田家の
経営改革」ほか

参考 1. 上尾市所在の指定文化財

〔国指定文化財一覧表・1件〕

〔種別〕内の（ ）は件数

種 別	指定文化財名	() 内は所有者・管理者
重要文化財	工芸品 (1)	線刻阿彌陀五佛鏡像 (個人蔵)

〔県指定文化財一覧表・4件〕

種 別	指定文化財名	() 内は所有者・管理者
有形文化財	工芸品 (1)	永楽通宝紋鞍付 鏡一双 (妙巖寺)
	考古資料 (1)	殿山遺跡出土旧石器 (上尾市教育委員会)
記念物	天然記念物 (2)	徳星寺の大カヤ及び暖帯林 (徳星寺)
		馬蹄寺のモクコク (馬蹄寺)

〔県選択無形民俗文化財（市指定民俗文化財でもある）〕

種 別	指定文化財名	() 内は所有者・管理者
民俗文化財	無形民俗文化財(1)	平方のどろいんきょ (平方上宿地内)

〔市指定文化財一覧表・74件〕

種 別	指定文化財名	() 内は所有者・管理者
有形文化財 (46)	建造物 (3)	愛宕神社(本殿) (愛宕神社) 少林寺山門(少林寺) 神山家煉瓦蔵・煉瓦塀 付 棟札一枚(神山家)
	絵画 (2)	紙本着色釈迦三尊像図(馬蹄寺) 絹本着色不動明王図(星野家)
	彫刻 (15)	十一面観世音菩薩坐像 付 胎内仏(清真寺) 相頓寺三仏(相頓寺) 日光・月光菩薩立像(密蔵院) 十一面観世音菩薩立像(日乗院) 十二神将立像(密蔵院) 銅造阿彌陀如来及び両脇侍立像(小林寺) 氷川神社本殿彫刻(氷川神社) 木造阿彌陀如来立像(相頓寺) 木造阿彌陀三尊立像(西光寺) 向山不動堂彫刻(向山地区) 原市山車彫刻(原市第1～5区) 木彫十一面観音立像(谷津町内会) 木彫釈迦三尊坐像(龍真寺) 木造宝冠阿彌陀坐像(放光院) 木造十一面観音坐像(観蔵院)

種 別	指定文化財名 () 内は所有者・管理者	
書跡・典籍・古文書 (9)	慶安の禁札 (十連寺) 家康朱印状等古文書 (徳星寺) 矢部家文書 (上尾市教育委員会) 小川家文書 (小川家) 須田家文書 (上尾市教育委員会) 神田家文書 (上尾市教育委員会) 南村須田家文書 (上尾市教育委員会) 上尾宿助郷関係 (壱丁目村) 文書 (上尾市教育委員会) 平方村石倉家文書文書 (上尾市教育委員会)	
	考古資料 (12)	月侍供養塔 (下芝農家組合) 月侍供養塔 (小川家) 弘長板碑 (楞巖寺) 古墳出土銅鏡 (新藤家) 地藏像板石塔婆 (畔吉東部共同墓地) 後山遺跡出土関山式土器 (上尾市教育委員会) 薬師耕地前遺跡出土品 (上尾市教育委員会) 相頓寺六字名号板石塔婆 (相頓寺) 私年号板石塔婆 (平野家) 正平七年銘板石塔婆 (奥隅家) 十連寺板石塔婆 (十連寺) 西通 I 遺跡出土灰釉草葉文瓶 (上尾市教育委員会)
	歴史資料 (5)	五榜の高札 (上尾市教育委員会) 瓦葺懸渡井官費営繕之真景図 (上尾市教育委員会) 私年号延徳元年銘板石塔婆 (藤波家) 平方村河岸出入商人衆奉納の石祠 (橘神社) 鈴木荘丹俳諧歌碑 (馬蹄寺)
民俗文化財 (13)	有形民俗文化財 (6)	車地藏 (堤崎地区) 万治二年銘庚申塔 (松本家) 相頓寺絵馬群 (相頓寺) 戸崎の浅間塚 (長沢家) 小塚浅間家 (関根家) 須田家の神楽師用具 (上尾市教育委員会)
	無形民俗文化財 (7)	藤波のささら獅子舞 (藤波地区) 畔吉ささら獅子舞 (畔吉地区) 藤波の餅つき踊り (藤波地区) 平方のどろいんきょ (平方上宿地内) 川の大じめ (川地区) 畔吉の万作踊り (畔吉地区) 堤崎の祭りばやし (堤崎地区)
記念物 (15)	史跡 (9)	上尾郷二賢堂跡 (氷川鋏神社) 山崎武平治碩茂の墓 (遍照院) 松下豊前守房利の供養塔 (放光院) 森朴斎碑と墓 (観音堂) 西尾隠岐守一族累代の墓 (妙巖寺) 伊藤由哉碑と墓 (妙巖寺) 柴田七九郎父子の墓 (今泉共同墓地) 正覚寺寺小屋遺跡 (観音堂) 殿山古墳 付 出土品四点 (本多家/付は市)

種 別	指定文化財名 () 内は所有者・管理者
天然記念物 (6)	もちの木 (山根家) 大けやき (橘神社) らかんまき (宝蔵寺) むくの木 (東町共同墓地) むくろじ (龍山院) 八枝神社の境内ケヤキ・エノキ群 (八枝神社)

〔市登録文化財一覧表・8件〕

種 別	指定文化財名 () 内は所有者・管理者
民俗文化財 (8)	有形民俗文化財 (7) 井戸木の延宝三年銘庚申塔 (井戸木共同墓地) 馬喰新田の寛政十二年銘庚申塔 (鈴木家) 徳星寺の正徳四年銘庚申塔 (徳星寺) 柏座の享保十三年銘庚申塔 (日乗院) 向山の宝暦三年銘庚申塔 (神明神社) 原市の正徳二年銘庚申塔 (稻荷神社) 原市船橋の文化二年銘庚申塔 (本田家)
	無形民俗文化財 (1) 上平の竹細工技術(個人)